

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：警察費 項：警察管理費 目：警察本部費

事業名 警察広報費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 広報県民課 次席 電話番号：058-271-2424(内2161)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 7,923 千円 (前年度予算額： 7,687 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	7,687	0	0	0	6,555	0	132	0	1,000
要求額	7,923	0	0	0	6,791	0	132	0	1,000
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

県民と警察とのふれあいを深めるとともに、明るく開かれた警察の姿をアピールし、警察活動への理解と協力を得るため、こどもけいさつフェスティバルや警察音楽隊による演奏会を通じた広報活動等を実施する。

(2) 事業内容

一般広報活動

・各種イベントや広報媒体を活用した広報活動

こどもけいさつ体験シリーズ

・こどもけいさつ絵画コンクール及び夏休みこどもけいさつフェスティバルの実施

音楽隊運営

・各種イベントにおける演奏活動を通じた啓発活動

(3) 県負担・補助率の考え方

岐阜県警察の活動に対する理解と協力を得るために広く情報を提供する事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	3,505	絵画コンクール参加賞、チラシ・パンフレットの印刷 など
役務費	67	ちびっこ警察官制服クリーニング料
委託料	1,989	警察音楽隊定期演奏会会場運営業務委託、動画配信委託 など
備品購入費	1,000	楽器の購入
その他	1,362	定期演奏会会場使用料、事前訓練会場使用料 など
合計	7,923	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略
政策の方向性

2-(2)⑤ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

安全・安心な社会の実現のために、警察活動の実態や諸施策を県民に正しく知らせ、かつ、安全確保に資する情報を提供することによって、警察への理解と協力を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①警察音楽隊派遣回数		30 回	50 回	50 回		
②こどもけいさつフェスティバル来場者数		中止	800人	800 人		

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	令和3年度まで中止せざるをえなかった警察音楽隊の定期演奏会を3年ぶりに開催し、盛況であった。また、音楽隊の各種イベントへの派遣も増えつつあり、音楽を通じた効果的な広報啓発活動を行うことができた。
	指標① 目標：50回 実績：36回 達成率：72 %
令和5年度	音楽隊の各種イベントの派遣や、児童合唱団の賛助を得た定期演奏会を実施する等、音楽を通じた効果的な広報啓発活動を行うことができた。また、駐車場工事等で例年とは受入状況が異なる中においても、こどもけいさつフェスティバルを実施する等、明るく開かれた警察の姿のアピールを行った。
	指標① 目標：50 回 実績：31回 達成率：62 %
令和6年度	音楽隊の各種イベントの派遣や、中高校生及び大学生との合同演奏を定期演奏会で実施する等、音楽を通じた効果的な広報啓発活動やリクルート活動を行うことができた（こどもけいさつフェスティバルは警衛行事対応のため中止）。
	指標① 目標：50回 実績：30回 達成率：60 %

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない	
(評価) 3	安心・安全な社会の実現のため、広報等による警察活動に対する県民の理解と協力の確保は欠かせず、またSNSをはじめ新たな広報媒体が増える等、広報事業の実施の必要性は高い。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	音楽隊活動については、各種イベント開催に伴う県民の反響がとて大きく、効果的な広報につながった。特に、定期演奏会は来場希望者が定員数の2倍を超えており、活動に対する県民の期待感が非常に高く、事業の効果は期待以上であった。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている	
(評価) 1	より効果的な広報媒体や方法を確立し、県民の理解を得られるよう努める。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県民との直接的なふれあいを通じた広報（こどもけいさつフェスティバルや定期演奏会等）を継続していく一方で、SNS等をより効果的に活用した新たな広報手法の確立など新しい発信方法を推進していく。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 現在の広報活動に加え、デジタル社会を見据えた広報の新しい発信方法を確立し、幅広い世代の支持を得られるよう効果的な広報活動に努める。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	